



大阪府 瀬崎林業(株)

『ニーズに応じた国産材を中国・台湾などに輸出』

【主な品目】

原木(丸太)

【主な輸出先国・地域】

中国・台湾・韓国

【輸出取組の概要】

- ◆ 2010年同業他社に先がけて原木(丸太)の輸出を開始
- ◆ 日本の人口減少に伴い、内需縮小が懸念される中、外需拡大に向けた戦略を展開
- ◆ 輸出先国のニーズに合わせ、マーケットインを念頭に輸出先の多角化を見据える

【輸出実績】(2010年(平成22年度)輸出開始)

	輸出額	輸出量	出荷時期
令和5年	283,231万円	17万7,000m ³	H22年10月～
令和4年	268,333万円	14万2,000m ³	
令和3年	325,716万円	19万4,000m ³	

【効果があった取組】

集材から輸出貿易まで、他社を入れず全て社員で担っている。商社とは違い、情報共有が速く、品質管理の徹底、細かいニーズの対応が可能となり、顧客のシェア拡大に繋がっている。

【取り組む際に生じた課題】

- ・ 日本は輸入国とのイメージを払拭する必要性
- ・ 日本の価値と海外の価値の違いを把握し、マーケットインの視点で対応
- ・ 原木集荷の際にかかる経費をダウン

【生じた課題への対応】

- ・ 日本の森林の持つポテンシャルを最大限発揮するため、国内の地域とのつながりを構築し、日本資源の豊かさを海外の視点からアピール
- ・ 現地のコミュニティを活性化させ、求められているニーズの正確な把握
- ・ 港から100kmの範囲内で集荷できるよう地元営業所等の設置で地域とのつながりを構築

【対応の結果】

- ・ マーケットインの発想で、日本では引き合いの少ない大径級の原木を輸出
- ・ ニーズのある規格に合わせて原木を輸出
- ・ 林業就業関係者の雇用条件が改善

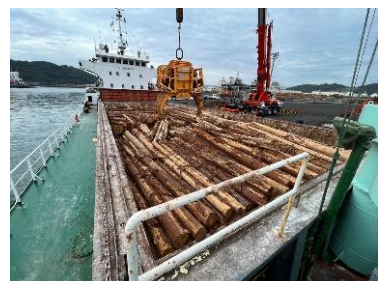
【今後の課題・展望】

- ・ 将来的に中国、台湾、韓国以外の輸出先国を拡大
- ・ 国内向けにも力を注ぎ、輸出と国内向けの両軸で対応を進める
- ・ 物価の高い国をターゲットに、2×4(ツーバイフォー)などを安定的に供給

【活用した支援・施策】 各自治体で設けている助成金制度等

【ウェブサイト】 <http://www.sezaki-ringyo.co.jp/>

【連絡先】 担当者名: 宇井、TEL: 03-5604-5011 (輸出部門は東京支店)



中国向けの船積のようす



出荷前の検品のようす



輸出戦略のミーティング